

若浜の子ども



平成30年9月6日 第5号

2学期のめあて 始業式校長講話から



<力作ぞろいの夏休み作品展>

まだある、まだあると思っているうちに、25日間の夏休みが終わりました。今年の夏休みの若浜のニュースと言えば、バレーボールスポーツ少年団の全国大会と山形県学童選抜水泳競技大会です。

若浜バレーボールスポーツ少年団は、全国大会で宮崎県、千葉県、福島県の代表から勝ち3勝を挙げました。岐阜県代表から惜しくも負け決勝リーグには進むことはできませんでした。すがすがしいがんばりを見せてくれました。

また、水泳の県大会では、6年生の佐藤雫さんが女子100m平泳ぎで優勝、女子メドレーリレー9位、女子フリーリレーが12位という素晴らしい結果を残しました。自分の力を信じていたからこそ最後まであきらめず、全力を挙げて競技することができたのだと思います。他にも、サッカー、卓球、野球、バスケットボールの各スポーツ少年団の皆さんも暑い夏休み中試合や練習を一生懸命がんばったことと思います。

さて、今日からはじまる2学期について、がんばってほしいことを3つお話しします。

1つめは、JRCの「気づき、考え、実行する」ということはどうすることかということをお返ししてほしいということです。人のために親切な行いをするということはJRCの考えで大切なことですが、その前に人に迷惑をかけないということも人のためになるということだということです。例えば時間を守ったり、静かに話を聞くということは当たり前のように思うかもしれませんが、逆に時間を守らなかったり、騒いでいたりする人は、時間を守り静かに話を聞いている人にとってはとっても迷惑をかけている困った人です。みんなが気持ちよく生活できるように「気づき、考え、実行する」JRCの考え方を広げる2学期にしましょう。

2つめは9月には「つながれ若っ子大運動会」、10月には学習発表会といった大きな行事があります。これらの行事は、みんなの工夫や努力を集めて成功させることができることです。311人の一人一人が若浜小学校のスーパースターです。みんながきらきら輝く2学期にしましょう。

3つめは勉強のがんばりです。2学期になると、例えば1年生は漢字の勉強が始まり2年生はかけ算九九の勉強が始まります。3年生から上の学年の皆さんも1学期とは違う新しいことをいろいろ勉強します。新しいことを覚えるのですから、間違いは当たり前です。間違えることをこわがらないで授業では自分の考えを発表したり、友だちの発表の良いところを聞いたりして、みんなで学び合う2学期にしましょう。わんぱく相撲や水泳記録会にたくさんの人が挑戦する若浜小学校の子は、失敗を恐れず積極的に立ち向かうことが似合う子ども達です。人の陰に隠れておとなしくしているのではなく、自分からすすんで発表しましょう。

「自ら学び、考え、行動する若浜の子ども」311人の2学期の頑張りを楽しみにしています。

つながれ若っ子大運動会

つ…つづける
な…なかよく笑顔いっぱい
が…がんばる
れ…れいき正しい

今年度も児童会を中心とした運動会「つながれ若っ子大運動会」を今週土曜日に開催します。「つながれ」に込められた子ども達の思いは左の枠の中のとおりですが、この言葉を考えた子ども達の言葉のセンスには感心するばかりです。昨年のTEAM若っ子大運動会もいいセンスだと思いましたが、今年の児童会の合言葉もさらに磨きがかかっています。

さて、この運動会に備え毎朝、応援練習をしています。今週の月曜日とても良いシーンを目にしたのでここで紹介します。

赤組応援団長吉村紫穂君（6年）が、応援練習の整列に間に合わなかった低学年の女子に教室から付き添って、連れてきてくれました。紫穂君の行動は、近年注目されている「まず相手に奉仕し、その後に相手を導く“サーバント・リーダー”」の姿です。

運動会の勝ち負けは子ども達にとって最重要課題でしょうが、異学年活動でのリーダーシップ、支え合う心の育成は、勝負以上に大切なことです。このシーンから運動会の別な点でのよさを感じました。

<徒競走の記録について>

例年運動会で徒競走のタイムを測定し、今年度の自己記録、学年最高記録としておりましたが、先に配布した案内の通り、運動会当日はタイムを計りません。その代わりの記録会を10月に開催いたします。

記録会を10月に行うため、練習時間がとれますので、高学年、中学年は陸上競技の外部講師による特別授業を9月中～下旬に計画しております。

また、中間休みに自由参加のタイムトライアルの機会を設定し、よりよい記録を狙える準備をして自己最高記録をめざすようにします。乞うご期待。



<団体種目「山あり谷あり」の練習>

若っ子の活躍

酒田市民大会標語コンクール 7/27

○交通安全の部 1年 前田悠翔（東栄町）



酒田市小体連水泳競技記録会 7/28

○女子200mメドレーリレー 第3位 2分39秒18

5年藤本彩夏（東栄町）6年佐藤雫（緑町）5年石橋結夏（新橋2丁目）5年堀はづき（新橋2丁目）

○女子200mフリーリレー 第3位 2分24秒90

5年堀はづき 5年長谷部末優（新橋2丁目）6年齋藤雪羽（若浜町）6年佐藤雫

<6年男子>

○50m平泳ぎ 第5位 佐藤陸斗（こあら）1分06秒44 第6位 阿曾伊織（東大町）1分09秒36

<6年女子>

○50m自由形 第3位 齋藤雪羽 36秒90 第5位 菅原颯香（東大町）41秒10

○50m平泳ぎ 第3位 小澤智佳（こあら）50秒88

○100m平泳ぎ 第1位 佐藤雫 1分22秒85

<5年男子>

○100m自由形 柳田悠（東町）1分45秒47

<5年女子>

○50m自由形 第2位 5年堀はづき 37秒70

○50m平泳ぎ 第4位 長谷部末優 49秒25 第5位 伊藤聡美（新橋4丁目）49秒83

○50m背泳ぎ 第4位 武田唯那（新橋2丁目）59秒47

○50mバタフライ 第1位 石橋結夏37秒06

○100mバタフライ 第3位 5年 藤本彩夏 1分42秒77

<4年生以下男子>

○50m自由形 第4位 4年 富樫湊（新橋4丁目）40秒90

<4年生以下女子>

○50m平泳ぎ 第2位 阿部直央（こあら）57秒43 第3位 2年石橋由菜（新橋2丁目）57秒73

第43回山形県選抜学童水泳記録会 8/19

○女子100m平泳ぎ 第1位 6年 佐藤雫 1分20秒73

○女子50mバタフライ 第6位 5年 石橋結夏 35秒25

第34回さわやか山形県一輪車競技大会 7/29

○400mリレー 第2位 酒田ユニサイクル・ケセラ 5年 長谷部末優

○スプリント低学年以下男女混合50m 第2位 2年 長谷部紘夢（新橋2丁目）

○スプリント低学年以下男子400m 第3位 2年 長谷部紘夢

○片足走行 低学年以下男子 第2位 第3位 2年 長谷部紘夢

第46回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部卓球大会 8/19

○女子団体 第3位 若浜卓球スポーツ少年団A

○カブ男子 シングルス 第2位 4年 渡部龍真(新橋5丁目) 第3位 3年 高橋希晏(東大町)

庄内米くまくんカップ少年サッカー大会 8/19

○準優勝 若浜サッカースポーツ少年団

第45回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部ミニバスケットボール大会 8/19

○女子の部 第3位 若浜ミニバスケットボールスポーツ少年団

夏休み明けの表彰朝会は、20分近くかかるほどの表彰ラッシュでした。この子ども達の活躍の裏には、指導して下さるコーチ、活動に参加させて下さるご家庭の支援等々いろいろな要素があると思います。しかし、若浜の子ども達の運動能力や旺盛なチャレンジ精神(わんぱく相撲大会の参加児童数19名、酒田市小学校水泳記録会参加児童数38名はともに酒田市No1)を説明するには、それだけでは材料不足かと思えます。わたしは、その基盤にあるのは、子どもは大事にするが、決して過保護にしないという若浜学区の風土があるのではないかと感じています。

例えば、先日の豪雨の時は別として、普通の雨ならば車で迎えに来る家庭は10軒以下、しかも低学年が中心。学校規模から考えたらとても少ないと思います。また、登校時に熱中症が案じられるような日に、ご家庭同士で連携を図り車に乗せるにしても途中で下ろして歩かせて下さるなど、子どもが自分の足で歩くことを大切に下さるご家庭の配慮を感じます。

少子化の時代だからこそ、一人一人の子どもをたくましく育て、自立させようという若浜の教育風土に共感します。

にじいろ学年いいところ見つけた

8月29日~30日に海浜自然の家で4年生の宿泊体験学習が行われました。4年生(にじいろ学年)は元気のいい子がそろっていて、活気がある学年です。(ちょっとやんちゃ?)今回この宿泊体験学習で



<4年生初めての海カヌー>

4年生のいいところを見つけました。それは話の聞き方です。だまって静かに聞くことは、話の聞き方の基本ですが、4年生は話を聞いている中で「はい。」という返事がそろって返ってくるのです。おとなしくして、聞いたふりをするのは簡単です。4年生は、話の内容から、返事をして意思表示をすることが必要なんだなということを自分で判断していました。

この習慣は、今はもちろん、中学校以降、社会人に至るまでの生活でもとても大切だと思います。

今年2分の1成人式を迎える4年生の成長が楽しみです。